

いちほら

編集・発行
市原市役所企画部広報広聴課
〒290-8501 市原市国分寺台中央 1-1-1
☎ 0436-22-1111(大代表)
http://www.city.ichihara.chiba.jp/

2012年(平成24年) 1375号
毎月1・15日発行

9月 1日

主な内容
ごみの収集方法・処理手数料を変更など……2
『まちのせんせい』を紹介など……3
地域のみんで災害対策……4・5
情報ページ 9月1日から不活性化ポリオワクチン予
防接種を開始、急病診療案内、相談案内など……6・7
この街あの人この人 今井さん兄弟……8

姉妹都市モバイル市青少年受入事業

みんな笑顔で『おもてなし』

市では、平成5年にモバイル市(アメリカ合衆国アラバマ州)と姉妹都市の提携をして以来、相互に青少年の派遣と受け入れを行ってまいりました。小学校で初めて同市の訪問団を招いた内田小学校では、習字や羽子板、餅つきなどで交流を深めました。

青少年受入事業

今年度は10回目の受け入れとなり、7月21日から30日まで、同市の青少年9人と引率者5人が来市し、それぞれのホームステイ先で日本の生活習慣などを体験



①



②

- ①「ヨイショ!ヨイショ!」と掛け声が響く会場
- ②「モバイルの人たちが、喜んで習字をしてくれて、うれしかったです」と習字の指導をした内海穂乃花(右)さん
- ③『市原・モバイル市民の夕べ』(you ホール)では、モバイルの青少年が劇を披露



③

しました。また本市の青少年と意見交換会などで交流したり、日本文化に触れられました(左写真)。

この受入事業は、市原市国際交流協会(※)の会員や過去に本市からモバイル市を訪れた派遣生、ホスト

モバイル市を市表彰

東日本大震災の日本の復興を願い、モバイル市から5万ドルの義援金をいただ

ファミリーなど、多くのボランティアに協力してもらっています。

※市原市国際交流協会
異文化理解のための交流事業や在住外国人市民支援など、さまざまな活動を行っています。同協会では会員を募集しています。詳しくは問い合わせください。

問合せ先
人権・国際課
☎ 23 9 8 2 6

モバイル市データ
面積 478 km²
人口 195,111 人
(2010年調査)
気候 年間平均気温 18.2℃。一年中温暖で、夏はスコールが多く蒸し暑い。

アメリカ合衆国
アトランタ市
モバイル市

その他 毎年春に行われる祭り『マルディグラ』が有名

鶴見虹子さんに市民栄誉賞

ロンドンオリンピックで女子体操競技日本代表として入賞し、市民に夢と感動を与えてくれた鶴見虹子選手(ちはら台南)に市民栄誉賞を授与しました。8月18日に鶴見さんに表彰盾と記念品(市原産ブランド米『養老のめぐみ』と市原産ナシなど)が贈られ、鶴見さんは「市民の皆さんの応援のおかげで、オリンピックで決勝に進出することができました。本当にありがとうございました。そしてこのような素晴らしい賞を頂き光栄に思います。これからも競技を続けていきますので、引き続き応援をよろしくお願いします」と話してくれました。

問合せ先 Web 総務課 ☎ 23 9822

近所の助け合いで

まだまだ残暑が続きますが、夏休みも終わり、元気な声が家庭から聞こえるようになりました。暑い夏を乗り切った子どもたちは、一段と成長したように見え、次代のいちほらの担い手として、とても頼もしく思えます。

この夏開催されたオリンピックは、段違い平行棒で28年ぶりの入賞を果たした市原市の鶴見選手をはじめ、日本選手の団結力とひたむきな姿に、私も元気づけられた2週間となりました。彼らの活躍は、きっと多くのいちほらっ子にとって未来への活力となったことでしょう。

さて、話は変わりますが、今日9月1日は『防災の日』です。昨年の東日本大震災を機に、市民の皆さまの防災意識はより一層高まったことと思います。市では『災害時要援護者支援制度』を創設しました。これは、町会や自治会といった地域の協力を得て、災害弱者に対する情報の伝達や安否確認、避難の手助けなどを行うというものです。自分の身は自分で守ることが大原則ですが、大規模災害が発生したときは、ご近所同士の助け合いも重要なことです。日頃から地元の人々との交流を深め、地域の絆で災害に備えましょう。

1日・2日は、市内各地で総合防災訓練が行われます。地域ぐるみでのご参加をお願いします。

市長 佐久間隆義